

水稻栽培マニュアル【グリーンな栽培体系】

品種名	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月										
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
コシヒカリ	生育ステージ	育苗期			田植え期	活着期			分けつ期			幼穂形成	穂ばらみ	出穂期	登熟期	成熟期	収穫期													
	作業体系	圃場準備			田植え	※必要に応じて田干し			溝切り	中干し			穂肥					収穫			乾燥調製									
	水管理							田干し																						
	施肥管理	【育苗培土】 そらふえいど 育苗培土（バイオ炭入り培土） 7kg/枚→5.6kg/枚 （8割に省力化）			基肥一括 エココシ〈施肥量〉 25~40kg/10a			グリーン エココシ〈施肥量〉 18~28kg/10a			分施 新エコ元肥〈施肥量〉 20~30kg/10a			【中間追肥散布】 ⇒倒伏軽減・品質向上 ※下記のどれかを施用してください。 ○珪酸加里：30kg/10a ○ファイト77：1袋（10錠）/10a ○カリ投げくん：4kg（200g×20袋）/10a			【穂肥1回目】 新エコ追肥〈施肥量〉 10~15kg/10a			【穂肥2回目】 新エコ追肥〈施肥量〉 10~15kg/10a									【秋の田起こし】 ※秋起こしの際は、下記のいずれかを施用し、10月末までに終わらせましょう。 ○元氣3兄弟：60kg/10a ○ケイカル：100~200kg/10a ○輸入ようりん：60kg/10a ○とれ太郎：60kg/10a ○石灰窒素：20kg/10a	
栽培管理	病害虫発生パターン	紋枯病（6/下~） いもち病（6/上~） カメムシ類【大型カメムシ類：越冬世代（5/下~6/上）、第1世代（7/下~8中）、第2世代（9/中~10/上）】【小型カメムシ類：越冬世代（5月）、第1世代（6月）、第2世代（7月）、第3世代（8月）】 ニカメイチュウ（①4/下~7/末、②8/上~9/下） イネミスソウムシ（5/上~6/上） イネドロオイムシ（5/上~6/下） イネアオムシ・イネツトムシ（6/下~8/上）																												
	病害虫防除	箱施薬 ○ヨールプライムEV箱粒剤 ○ブーンレバード箱粒剤 ○Dr.オリゼリディア箱粒剤 ○スタウトアレスモンガレス箱粒剤 ○スタウトダントツ箱粒剤						紋枯病 ○モンカット粒剤						いもち病 ○オリゼメート粒剤 ○ブラシン粉剤DL						【主なカメムシ類】 ●大型カメムシ類 クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシ ●小型カメムシ類 アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ			病害虫による被害 イネミスソウムシ イネドロオイムシ イネアオムシ ニカメイチュウ いもち病 穂いもち 紋枯病 斑点米（頂部）							
管理のポイント	土づくり資材（春施用）	★春起こし（荒田起こし）の実施 ※前年の秋に散布していない場合は、下記のいずれかを施用して下さい。 ・元氣3兄弟：60kg/10a ・輸入ようりん：60kg/10a ・けい酸加里：20~40kg/10a ・とれ太郎：60~80kg/10a																												
	管理のポイント	育苗ハウスの管理 ★適切な管理で健全な苗を作しましょう！ ○ハウスの温度管理と水管理 ・品種にあった量を播種する。（コシヒカリ：乾籾130g/箱、その他品種：150g/箱） ●緑化期： ①日中のハウス温度は昼間20~25℃、夜間15~20℃を基本とし、10℃以下または30℃以上にしないこと。 ②床土が乾いていたら、灌水すること。 ●硬化期： ①日中のハウス温度は昼間15~20℃、夜間10~15℃を基本とし、5℃以下または30℃以上にしないこと。 ②灌水は天候を見て床土の乾いた午前中に行い、乾燥した日は多めに、低温や過温の日は控えめに行う。						田植え ○風のない暖かい日に行い、植え痛みを防止する。 ○施肥量は、地力や前年度作物の残肥を考慮して加減する。 ○肥料によって田植機の施肥量開度調節に注意すること。 ○植付密度は60~70株程度で1株3~4本、深さは3cm程度とすること。						田干し・溝切り・中干し ○活着後浅水管理でワキが発生したら、田干しを実施。 ○生育後半の水管理を容易するため、溝切りの実施。 ○1株18~20本程度で中干しを開始。						中間追肥の散布 ★健全な稲の生育と品質向上のため散布しましょう。 ※下記のいずれかを施用して下さい。 ・珪酸加里：30kg/10a ・ファイトアップ：1袋（10錠）/10a ・カリ投げくん：4kg（200g×20袋）/10a			病害虫防除・雑草管理 ○カメムシ類防除のために、畦畔や農道の雑草が住み家となるので草刈りを徹底。 ○防除の基本は、病気は予防、害虫は発生初期の朝か夕方に散布。			土づくり資材（秋施用） ★10月末までに秋の田起こしの実施 ○土づくり資材の施用 ※下記のいずれかを施用して下さい。 ・元氣3兄弟：60kg/10a ・ケイカル：100~200kg/10a ・輸入ようりん：60kg/10a ・とれ太郎：60kg/10a ・石灰窒素：20kg/10a ○稲わらのすき込みの実施				
		適期刈取・乾燥調製 ○出穂日を確認し、刈取り開始日の目安を確認。 ○立毛中の籾水分が25%を下回る時期が刈取目安。						水管理 ○間断通水の実施（幼穂形成期から収穫直前まで徹底） ○台風によるフェーン、強風時は一時的に灌水して稲体を守る。						無人航空機防除																